

■東南アフリカ：ザンビア、タンザニア、ケニア連系線の建設覚書を締結

2014年10月9日付の記事によると、ザンビア、タンザニア、ケニア政府は9月30日に3カ国にまたがる国際連系線（ZTK 連系線）の建設覚書の締結を行った。ZTK 連系線は南部アフリカ開発共同体（SADC）における優先実施プロジェクトであり、概算工事費は約8億6,000万ドルである。具体的には、タンザニアのMbeya とザンビアのKasama の間に電圧400kV、亘長301kmの送電線、また、タンザニアのSingida とケニアのIsinya の間に電圧400kV、送電容量240万kW、亘長508kmの送電線を建設する予定である。本プロジェクトにより、東南アフリカ地域における電力コストの低減が期待されている。なお、タンザニアとケニアの間の連系線は、既にアフリカ開発銀行とJICAが2億7154万ドルを資金提供している。